

日本看護系学会協議会
日本学術会議健康生活科学委員会看護学分科会
共催
シンポジウム

看護の役割拡大に向けてのイノベーション

日時：平成20年12月14日(日)、15:00～17:00

場所：福岡国際会議場 409 第4会場

【開催趣旨】

日本学術会議においては、長期的な視点で持続可能な医療を構築するために、医療のイノベーション検討委員会を中心に検討し「信頼に支えられた医療の実現

医療を崩壊させないために」という政府への要望を出しました。また看護学分科会では「看護職の役割拡大が安全と安心の医療を支える」という提言を発表しました。本題6月シンポジウムの第2弾である今回のシンポジウムでは、政策と學術の最新の動きを踏まえ、国民の健やかな暮らしを保障する医療改革に向けて、看護が担うべき役割・自律的判断の拡大について検討します。

<司会>

太田 喜久子 (日本看護系学会協議会会長、慶應義塾大学看護医療学部教授)

<シンポジスト>

野村 陽子 (厚生労働省 看護課課長)

南 裕子 (日本学術会議会員、看護学分科会委員長、近大姫路大学学長)

片田 範子 (日本小児看護学会、兵庫県立大学看護学部教授)

田中美恵子 (日本精神保健看護学会、東京女子医科大学看護学部教授)

<後援：日本看護科学学会第28回学術集会>